

TOTO

ゼロフィルターサイドフード

製品の機能が十分に発揮されるように、この説明書および
総合組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください。)

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよく読解のめ、正しく取り付けてください。
この説明書で記載されていない取り付けたとき、お掃除やメンテナンスへの注意や対応への注意を未然に防止するために、
いろいろな表示を行っています。その表示と意味は次のようになります。

●お守りいただく内容の種類を、次の表で区別し、説明しています。

表示	意味	表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して扱った取り扱いは安全です。脅かすまたは重大な危害を及ぼす可能性があることを示しています。		この表示の欄の内容を無視して扱った取り扱いをしますと、怪我または重大な損害が発生する可能性があることを示しています。
	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

分解・修理・改造禁止
修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしない
火災、感電や異常作動に及ぼる原因となります。

取付注意
メタルスクリュー、ワイヤラスクリュー、または金属板留りの木造造り物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルスクリュー、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける
火災、感電や異常作動に及ぼる原因となります。

取付注意
レンジフード本体と排気ダクトは可燃物との間隔を 10cm 以上確保か、不燃材料を使用して可燃物を覆う
※詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください。

取付注意
自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配慮をする
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす可能性があります。

取付注意
D 種接地工事を行う
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

警告

取付注意
配線工事は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って安全・確実に行う
火災、感電の原因となります。

取付注意
アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アース配線が不完全な場合、感電するおそれがあります。

使用禁止
交流 100V 以外では使用しない
火災、感電の原因となります。

使用禁止
浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない
(浴室換気扇をお使いください。)
感電や故障の原因となります。

禁止
電源コードを束ねない
火災、感電の原因となります。

注意

取付注意
ファンや部品の取り付けは確実に行う
落下により、けがをすることがあります。

取付注意
本体の取り付けは十分強度のあるところを確実に行う
落下により、けがをすることがあります。

使用禁止
運転中はファンの中に指や物を入れない
けがをする原因となります。

取付注意
ダクトの接続は確実に行う
排気漏れの原因となります。

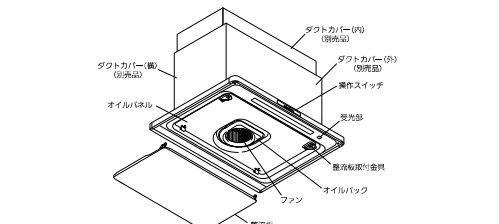
取り付け上のお願ひ

下記は「建築工事」に区別され、関連する法令、規程に従って法的な資格者が行う必要があります。

- ・ 大工工事 (取組のための解体工事等)
- ・ 配線工事 (コンセントの設置、コンセント・コネクタ(用)以外の配線接続等)
- ・ 電気工事 (ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等)

流通業者 (販売店) を通じて組立・設置する場合は、「建築工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。

2) 各部の名称



お願ひ

- ・ 本体および取り付け外した部品は、耐火・破損に注意してください。
- ・ 取り付け時に、工具などでキズをつけないよう注意してください。

3) 付属品・別売関連部品

1 付属品

※不足しているものがないか、確認してください。

取付留付ねじ φ5.1×45 (6本)	取付ねじ M4×8 (4本)	排気口 (1個)	ソフトテープ (1本)	取組説明書 組立・設置説明書 (各1冊)
---------------------------	----------------------	-------------	----------------	----------------------------

2 ダクトカバー (別売品)

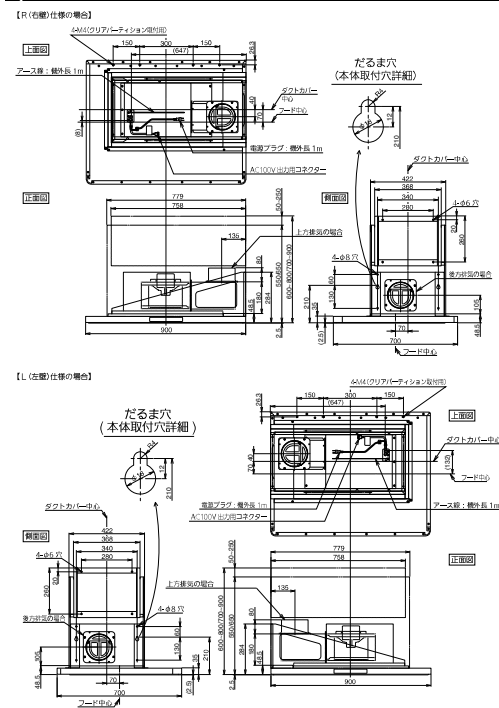
※同時給排ユニット付きダクトカバーの場合は裏面を参照してください。

取付ねじ φ5.1×45 (4本)	ナベねじ M4×8 (2本)	トラスねじ M4×6 (6本)	トラスねじ M4×10 (2本)	ダクトカバー(外) (各1個)	ダクトカバー(横) (1個)	ダクトカバー(内) (各1個)	引掛け金具 1ヶ所 (各1個)
-------------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	--------------------	-------------------	--------------------	-----------------------

3 関連部品

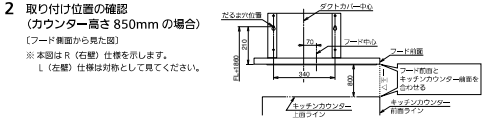
同時給排ユニット、または電動ダンパー電動機を使う場合はフードを取り付ける前に配線の接続が必要となりますので、あらかじめ用意してください。

4) 製品寸法図



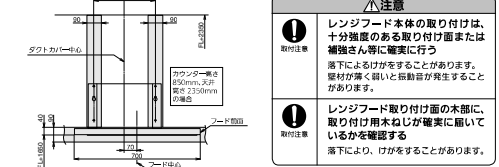
5) 取り付け前の確認

- 1 取り付け上のご注意**
- 取付けの下地は不燃材料で有効に仕上げてください。※詳しくは所轄の消防署へ確認ください。
 - フード本体と排気ダクトは、可燃物との間隔を 10cm 以上確保か、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。
※詳しくは所轄の消防署へ確認ください。
 - 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは彎曲したダクトは排気効果著しく低下したり、騒音が大きくなりやすいので、使用しないでください。
 - 給気口を改造しての取付は絶対にやめください。
 - 電源は専用コンセントを付けてください。
 - 製品の取り付けには手袋を着用してください。扉の切り口などでけがをすることがあります。
 - 電気配線工事は必ず資格者が行ってください。
 - コンセントは定格表示「125V・15A」のアース・ミネラル・接地専用コンセントを使用してください。

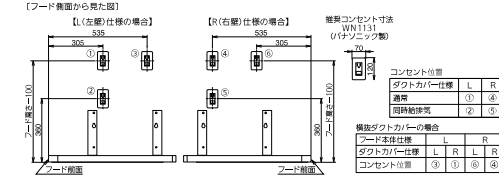


3 取り付け木さし位置法 (建築工事)

※横接ダクトカバーの場合は裏面を参照してください。
【フード裏面から見た図】

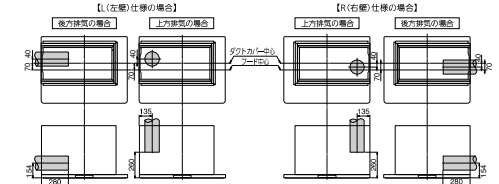


4 電源コンセント位置



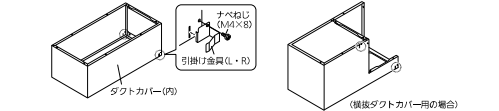
5 ダクト位置

※横接ダクトカバー、同時給排ユニット付きダクトカバーの場合は裏面を参照してください。

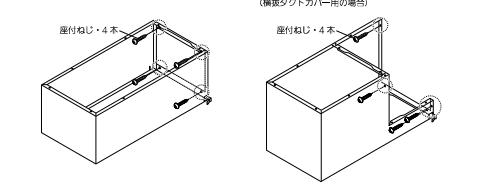


6) ダクトカバー (内) の準備

- 1 引掛け金具 (L・R) の取り付け (図は R (右壁) 仕様)**
- ダクトカバー (内) の下図に示す位置に、引掛け金具 (L・R) をそれぞれ取り付け付けてください。



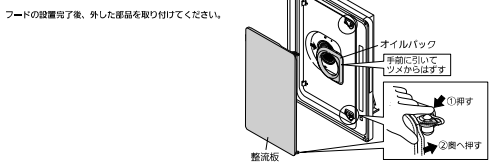
- 2 ダクトカバー (内) の壁への固定**
- 取付ねじ (φ5.1×45) 4本で固定します。



※ 裏面は天井にすまじょうに取り付けてください。
壁接着剤、強固天井等で天井に接しない場合は空腔を開けてください。

7) 部品の取り出し

フードを取り付けるときに部品に傷が付かないよう整流板・オイルバックを取り外してください。



8) 取り付けかた

図は R (右壁) 仕様を示します。
L (左壁) 仕様の場合は排気口が本体左側となります取り付けかたは同様です。
※同時給排ユニット付きダクトカバーの場合は裏面を参照してください。

1 排気口(ソフトテープ)をまぐ

2 排気口を取り付ける (取付ねじ(4×12)4本)

排気口の開口向きに注意!

【上方排気の場合・横接ダクトカバーの場合】

【後方排気の場合】

L形ダクト

L形ダクトは取り外す

排気ダクトカバーの場合は下取り壁も参照

3 フードを壁に固定する

取付留付ねじ (φ5.1×45) 2本を少し出しておく

約5mm

引掛けてねじ2本を締める

【横接ダクトカバーの場合】

排気口に直垂ダクト、90°ベント管(エルボ)を取り付ける

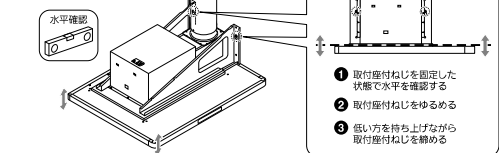
90°ベント管(エルボ) (建築工事用手配)

長さを選択した直垂ダクト (建築工事用手配)

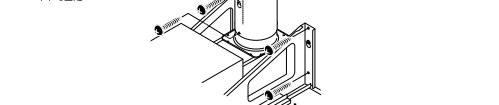
※取付位置と取付方法図を参考にしてください。

4) フード本体の水平確認と調整

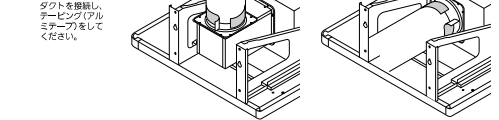
フード本体をダルマの取付留付ねじ(φ5.1×45)で固定した状態で水平を確認します。
水平がでない場合は取付留付ねじを少しゆるめ、低い方を上方に持ち上げながら取付留付ねじを締め直し、水平出しをします。



5) 金具を取付留付ねじ(φ5.1×45)4本で固定

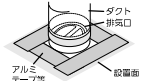


6) ダクトの接続



お願ひ 排気口設置面の漏風確認

排気口とダクトを接続する際に、ダクトとレンジフードの排気口を無型に接続しようとすると、排気口および排気口設置面(フード天面等)が変形し、排気漏れが発生してしまふ場合があります。
排気漏れ確認のため、ダクト接続後は試験(「強」運転)を行ってください。
漏れする場合は排気口と設置面の間をアルミテープで覆って排気防止処置を行ってください。



9) 電気配線

1 アース線をアースターミナルに接続します

※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令で禁止されています)

2 電圧が100Vであることを確認してからコンセントに電源プラグを差し込みます

※コンセントは定格表示
125V・15Aのアース
ターミナル・接地極付
コンセントを使用し
てください。



警告

アース線
接続

アース線を確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電するおそれ
があります。
アース線断が不完全な場合、感電する
おそれがあります。

電源プラグは根本まで確実に
差し込む
差し込みが不完全だと感電や発熱に
よる火災の原因となります。

電源コードを束ねない
火災・感電の原因となります。

禁止

10) ダクトカバーの取り付け

- ダクトカバー(外)の隅に引掛け金具を
差し込む
- 壁との間に隙間ができ
ないようにダクトカバー(外)を垂直に等
せながら、また本体の
水平を調整しながら
トラスねじ(M4×6)
(2ヶ所)、トラスねじ
(M4×10)(1ヶ所)
で固定する
- ダクトカバー(外)の
隅にツメを
差し込む
- ダクトカバー(外)との合わせ目
に隙間がないことを確認する

11) 試運転

- 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態は取扱説明書をご確認ください。
- 運転時に各液面の排気が正しく行われていることを確認してください。
- 異常な音、振動がないことを確認してください。
- 機外の排気口から排気されていることを確認してください。
- 取り付け、または組立・設置上に発生した不具合が修理を依頼されますと、すべて有料となりますので十分確認してください。

横抜ダクトカバーの場合

寸法図

横抜ダクトカバーの場合(つづき)

取り付け木さん位置寸法(建築工事)

※本図はR(右側)仕様を示します。
L(左側)仕様は対称として見てください。
(上面の排気口位置は異なります。)

ダクト位置

ダクト長は90°ベント管(エルボ)の寸法(A部)により変わります。
本図を参考にダクト長を調整してください。

アジャスト用直管ダクトの長さ調整

ダクト長は90°ベント管(エルボ)の寸法(A部)により変わります。
本図を参考にダクト長を調整してください。

ご注意

90°ベント管(エルボ)は建築工事用手电となります。設置高さが低い場合、
測定される90°ベント管によっては排気口と干渉する場合があります。
90°ベント管の測定には注意をお願いします。

同時給排ユニット付きダクトカバーの場合

付属品

※不足しているものがないか、確認してください。

取付ねじ φ5.1×45 (4本)	アベねじ M4×8 (16本)	トラスねじ M4×6 (6本)	トラスねじ M4×10 (2本)	給気アダプター (1個)	チャンバーBOX (1個)
信号線 (各1個)	排気口 2Pコネクタ	同時給・排気口 (各1個)	給気口 3Pコネクタ	ソフトテープ (2本)	チャンバーBOXふた (1個)
引掛け金具 L・R (各1個)	ダクトカバー(外) (各1個)	ダクトカバー(横) (1個)	ダクトカバー(内) (1個)		

同時給排ユニット付きダクトカバーの場合(つづき)

寸法図

※本図はR(右側)仕様を示します。
L(左側)仕様は対称として見てください。
(上面の排気口位置は異なります。)

ダクト位置

上方給排気の場合の取り付け

- 同時排気口にソフト
テープをまく
※同時給気口も同様
- 同時排気口を取り
付ける(給排ねじ
(4×12)4本)
- チャンバーBOXふたを取り付ける
(アベねじ(M4×8)2本)
- 同時給気口をチャンバー
BOXに取り付ける
(アベねじ(M4×8)4本)
- チャンバーBOXを本体に
取り付ける
(アベねじ(M4×8)4本)
- コネクタを接続する
- チャンバーBOXに給気アダプター
を取り付ける
(アベねじ(M4×8)4本)

後方給排気の場合の取り付け

- L形ダクトをはずし、同時排
気口を取り付ける
(給排ねじ(4×12)4本)
- チャンバーふたをつける
- 同時給気口をチャンバー
BOXに取り付ける
(アベねじ(M4×8)4本)
- チャンバーBOXを本体に
取り付ける
(アベねじ(M4×8)4本)
- コネクタを接続する
- チャンバーBOXに給気アダプター
を取り付ける
(アベねじ(M4×8)4本)

フード本体の裏への取り付けおよびダクトカバーの取り付けは「8」取り付けかた「10」ダクトカバーの取り付け」を参照してください。